

# 令和6年度 学校評価報告

草加市立瀬崎小学校

(令和7年1月31日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
<p>心豊かで たくましい子 ～まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい～</p>	
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
<p>◇ ESD (持続可能な開発のための教育) における7つの能力・態度の育成 (コミュニケーション能力、つながりを尊重する態度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修を核とした授業改善</li> <li>・ 生徒指導体制の構築と家庭との連携</li> </ul> <p>◇ 地域と共にある学校づくり</p>	<p>成果○生徒指導体制の構築により、いじめ・不登校等の課題の早期発見となり、組織的対応が強化され、早期解決できたことが多くなった。</p> <p>課題●「聞いて考え伝え合う」学びの充実を目指した授業研究を通して、教員の指導力・授業力を向上させるとともに児童の学力向上を図る。</p>

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校経営目標、方針</li> <li>・ 校務分掌組織</li> <li>・ 適所への適材配置</li> <li>・ 職員会議等の運営</li> <li>・ 予算の執行・決算、監査等</li> </ul>	A	<p>○本年度の重点目標の実現に向け、教職員が学校運営参画意識を持って具体的な方策を立て、取り組んだ。</p> <p>○コロナ禍後に施行した日課表や学校行事を見直し、抜本的改善に着手したため、来年度から実施が可能となった。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究組織、計画、実施</li> <li>・ 校内研修の推進</li> <li>・ 授業改善への取組</li> <li>・ 校外研修会への参加</li> <li>・ 人材育成</li> </ul>	B	<p>○市教委研究委嘱の「主体的、対話的で深い学びの充実を図る授業づくり」に関わる研究を通して、本校の課題をもとに目指す児童像を明確にした結果、日々の授業改善に結び付いた。</p> <p>●瀬崎中校区で連携を図り、更なる授業改善に取り組む。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健計画、安全計画</li> <li>・ 環境衛生の管理</li> <li>・ 健康観察、安全点検</li> <li>・ 緊急事態発生時の対応</li> <li>・ 危機管理マニュアルの作成・活用</li> </ul>	A	<p>○養護教諭と保健主事を中心に、学校保健委員会においてヒヤリハット事例を出し合い、児童のケガ防止の研修を行った結果、共通理解・共通行動が図られた。</p> <p>●児童の外遊びにおける、危険回避能力の向上を図る。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報の管理、保護</li> <li>・ 施設設備の管理と有効利用</li> </ul>	B	<p>○個人情報の保護に関する校内規定を見直し、情報管理の徹底を行った。</p> <p>●施設設備の経年劣化を見越した修繕計画を立てるとともに、不用品の撤去等を進め、危険防止を図る。</p>
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校情報の発信</li> <li>・ 学校公開の実施</li> <li>・ 学校運営協議会の推進</li> <li>・ 地域、校種間連携</li> <li>・ PTA活動の活性化</li> </ul>	A	<p>○毎日HPを更新して情報発信を行うとともに、学校運営協議会やふれあい推進室との協議を通して、開かれた学校づくりを推進することができた。</p> <p>●児童、教職員ともに、地域の中にある学校としての意識を向上させ、協働体制を築く。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指す子ども像の共有</li> <li>・ 15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>・ 一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	A	<p>○目指す子供像を共有するとともに、中学校及び保育園との交流を深めた。(学校見学、給食・読み聞かせ・陸上練習・合唱・作品交流等)</p> <p>●顔の見える交流と学びの連携をキーワードに、幼保小中一貫プログラムの工夫改善を図る。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科・領域の授業時数の見直し、瀬崎小学力向上プランの改定を実施し、教育活動の工夫・改善を行うことができた。</li> <li>●学力向上に向けた教育計画の見直し。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の実現のため、一人一台端末の効果的な活用が推進された。</li> <li>●デジタル教材開発を進め、どの教職員も授業で効果的に使えるよう、研修を行う。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の評価について、具体的な例を示して全教職員が共通理解を図ることで、どの学年も指導と評価を一体化させることができた。</li> <li>●道徳教育の家庭・地域への啓発。連携。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任とALTとの綿密な打ち合わせにより、授業での連携が図られ、質の高い授業実践となった。</li> <li>●小中一貫教育を推進し、標準カリキュラムをもとに中学英語を意識した指導計画を作成し、さらなる授業力向上を行う。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動やクラブ活動において、見通しを持った活動を行うことで、児童の自治的な活動実践が増加した。</li> <li>●異学年集団との縦割り活動の充実。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部指導者を招聘した授業研究会を通して、授業者の役割や形成的評価の工夫を研修し、授業改善を図った。</li> <li>●年間指導計画の見直しと地域人材の活用の促進</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の教職員や生徒指導委員会を中心とした組織体制の構築により、問題の早期発見、早期対応を図り、いじめの未然防止や早期解決を行うことができた。</li> <li>●SSWやSC、地域人材や関係機関との連携を強化。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回来校する瀬崎中学校教員と連携した指導を行うことで、高学年の児童が中学校生活への意識を向上させることができた。</li> <li>●キャリアパスポートの関連性を明確にした、特別活動の実施</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育コーディネーターによる通常学級での支援の紹介や、草加かがやき特別支援学校コーディネーターの指導により、個に応じた学びの場の工夫を行うことができた。</li> <li>●校内支援体制の整備とその強化。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の一環として行ったビブリオバトルを契機に、読書活動が推進され、昨年度比1.4倍の読書量の増加を実現した。</li> <li>●家庭での読書活動習慣の確立。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報教育担当を中心とした校内研修を通して、デジタルドリルの導入、ICTの積極的活用による授業実践が推進された。</li> <li>●外部講師を招聘した情報モラル教育講座を継続実施。</li> </ul>

⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	B	<p>○「人権擁護団体におけるゲータイ教室」、人権感覚の育成に努めた。また教職員における人権研修を実施した。</p> <p>●全学級において、人権感覚育成プログラムの計画的な実施。</p>
-------	--	---	--

(様式1・小学校用③)

草加市立瀬崎小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携</li> <li>・学校運営協議会との連携</li> <li>・学校応援団との連携</li> <li>・地域人材の発掘</li> </ul>	A	<p>○登下校の見守りボランティアの減少について、学校運営協議会で協議し、17名の瀬崎小ふれあい推進委員が実施することになった。登校見守りに加え、地域のあいさつ運動となり、「地域の中にある学校づくり」の推進となった。</p> <p>○学校運営協議会より地域の新聞にボランティア募集掲載を依頼、児童の教育支援の充実につながった。</p> <p>●学校応援団の高年齢化による人材発掘。</p>
	②ESDにおける7つの能力・態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の育成</li> <li>・他者との協力</li> <li>・つながりの尊重</li> <li>・進んで参加</li> </ul>	A	<p>○生活科及び総合的な学習の計画的な実施により、7つの能力・態度の育成に結び付いた。</p> <p>○「聞いて 考え 伝え合う」学びの充実を図ることで、他者理解の意識が高まった。</p>
	③幼保小中連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中一貫プログラムの充実</li> <li>・相互交流</li> <li>・教職員の連携</li> </ul>	B	<p>○3保育園との交流活動を多く実施し、子ども同士の関わりを充実させることができた。教職員の連絡協議会を行い、接続期における教育活動を確認し、歩調を合わせる事ができた。</p> <p>●中学校区の研修の更なる充実。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- (1) 「地域の中にある学校 瀬崎小」を推進し、保護者・地域・関係機関が一丸となり、よい雰囲気地域とともにある開かれた学校づくりができています。
- (2) 本年度も集金を口座振替、校内行事の精選、放課後会議の削減等を行い、負担軽減を行った。また、年休取得促進システムの構築、定時退勤日の設定、業務のデジタル化の推進等を行うことで、在校時間の削減を図ることができた。
- (3) 教育支援室、草加かがやき特別支援学校、子育て支援センター、児童相談所、草加警察署等のさまざまな関係機関と連携を行い、さらにSSW、SCの活用も充実させることで教育相談の取組をより一層推進させた。
- (4) 幼稚園、保育園、小学校、幼保小中を一貫した教育をさらに強化し、深めることができた。
- (5) 学校関係者評価、保護者評価では、今年度も落ち着いて授業に取り組む児童の姿や、熱心な教員の指導も良く、学校全体の雰囲気が良いとの評価をいただいた。
- (6) 令和6・7年度草加市教育委員会研究委嘱を受け、瀬崎中学校区のキャッチフレーズ「聞いて 考え 伝え合う」の浸透の図り、共通理解と共通指導を行うことで授業改善につながった。

6 次年度の改善策

- (1) 特色ある教育課程実現に向け、ESDの7つ能力・態度の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。
- (2) タブレット端末の活用を進め、学びの連続を図る家庭学習の充実を実施する。
- (3) 学校教育の質の維持向上を図りつつ、教職員の働き方改革をさらに推進する。
- (4) 関係機関、教育委員会、家庭・地域等と連携し、長期欠席者と不登校児童の数を減少させる。また、課題をもっている児童への対応を全職員で共通理解の下、組織的に行っていく。
- (5) 幼保小中を一貫した教育に向け、今後も瀬崎中、高砂小、せざき保育園、あおぞら保育園、谷塚幼稚園との連携をより一層、深めていく。
- (6) 瀬崎中学校区3校合同研究発表会に向けて、校内研修を計画的に推進し充実させ、授業力を向上させる。

